



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月15日

上場会社名 株式会社オキサイド 上場取引所 東  
コード番号 6521 URL https://www.opt-oxide.com  
代表者 (役職名) 代表取締役社長(COO & CFO) (氏名) 山本 正幸  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役(CSO)総合企画本部長 (氏名) 内田 誠二 TEL 0551 (26) 0022  
半期報告書提出予定日 2024年10月15日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,398	2.3	△396	—	△317	—	△242	—
2024年2月期中間期	3,323	—	△112	—	△26	—	△63	—

(注) 包括利益 2025年2月期中間期 84百万円 (21.6%) 2024年2月期中間期 69百万円 (—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	△22.01	—
2024年2月期中間期	△6.37	—

- (注) 1. 2024年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2024年2月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。  
3. 2024年2月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年2月期中間期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	20,834	7,810	7,810	7,810	37.4
2024年2月期	19,251	7,610	7,610	7,610	39.5

(参考) 自己資本 2025年2月期中間期 7,788百万円 2024年2月期 7,610百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,553	29.5	202	—	129	—	16	—	1.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：無
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期中間期	11,077,125株	2024年2月期	11,005,525株
② 期末自己株式数	2025年2月期中間期	737株	2024年2月期	467株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年2月期中間期	11,010,781株	2024年2月期中間期	9,977,352株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、個人消費の改善や世界貿易量の回復による底堅さを維持しつつも、金融市場での世界同時株安やウクライナや中東地域での地政学的紛争の長期化等により先行きの不透明な状況が継続しております。これに対し日本経済は、雇用や実質賃金の回復に伴い個人消費の低迷が底打ちするなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような状況の中、当社グループの中間連結会計期間は、僅かに計画を上回りました。製品の市場別では、半導体事業においては、セカンドベンダー製の部材調達が順調に進捗し、レーザ装置の生産及び出荷は計画どおりに進展しました。これにより、売上高は概ね計画どおりの水準となりました。ヘルスケア事業においては、がん診断用PET装置の従来顧客向け継続出荷、及び新規顧客向けの出荷が寄与し、売上高は計画を上回りました。新領域事業においては、地政学的な要因によってRaicol社の売上が限定的となり、計画を下回りました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は3,398百万円(前年同期比2.3%増)、営業損失は396百万円(前年同期は112百万円の損失)、経常損失は317百万円(前年同期は26百万円の損失)、親会社株主に帰属する中間純損失は242百万円(前年同期は63百万円の損失)となりました。

なお、前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映した金額を用いております。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当中間連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,582百万円増加し、20,834百万円となりました。これは主に、有形固定資産が613百万円、仕掛品が604百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が256百万円減少したこと等によるものであります。

## (負債)

当中間連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,382百万円増加し、13,023百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,200百万円増加したこと等によるものであります。

## (純資産)

当中間連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ200百万円増加し、7,810百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が327百万円増加した一方、利益剰余金が242百万円減少したこと等によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ546百万円増加し、2,173百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は290百万円(前年同期は1,528百万円の支出)となりました。これは主に減価償却費396百万円の計上、契約負債の増加額417百万円、棚卸資産の増加額357百万円が生じたこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は924百万円(前年同期は5,725百万円の支出)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出990百万円が生じたこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は1,174百万円(前年同期は7,091百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の純増加額1,200百万円、長期借入れによる収入320百万円が生じた一方で、長期借入金の返済による支出419百万円が生じたこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月15日に開示いたしました「2024年2月期 決算短信」において発表した通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,631,297	2,178,706
受取手形及び売掛金	1,350,683	1,094,418
電子記録債権	11,853	29,700
商品及び製品	207,458	310,862
仕掛品	2,501,779	3,106,629
原材料及び貯蔵品	1,401,026	1,159,311
その他	455,007	420,081
流動資産合計	7,559,106	8,299,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,592,049	2,607,260
機械装置及び運搬具(純額)	3,909,362	3,969,330
その他(純額)	1,630,214	2,168,904
有形固定資産合計	8,131,626	8,745,496
無形固定資産		
のれん	1,641,346	1,701,534
顧客関連資産	1,140,346	1,205,865
その他	262,290	275,863
無形固定資産合計	3,043,983	3,183,263
投資その他の資産	516,994	606,041
固定資産合計	11,692,604	12,534,802
資産合計	19,251,711	20,834,511

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	261,690	294,326
短期借入金	1,500,000	2,700,000
1年内償還予定の社債	7,000	8,000
1年内返済予定の長期借入金	905,866	1,064,560
未払法人税等	32,844	27,982
賞与引当金	122,200	121,725
修繕引当金	68,880	108,584
製品保証引当金	108,734	94,246
その他	1,595,035	1,726,324
流動負債合計	4,602,253	6,145,748
固定負債		
社債	154,500	150,000
長期借入金	6,638,761	6,445,568
従業員株式報酬引当金	5,654	8,163
退職給付に係る負債	522	572
その他	239,593	273,858
固定負債合計	7,039,032	6,878,162
負債合計	11,641,285	13,023,910
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,177,014	3,223,347
資本剰余金	3,633,837	3,680,170
利益剰余金	652,271	409,934
自己株式	△1,591	△1,591
株主資本合計	7,461,530	7,311,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	962	682
為替換算調整勘定	147,932	475,467
その他の包括利益累計額合計	148,895	476,150
新株予約権	—	22,589
純資産合計	7,610,426	7,810,600
負債純資産合計	19,251,711	20,834,511

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年3月1日 至2024年8月31日)
売上高	3,323,589	3,398,670
売上原価	2,131,184	2,242,795
売上総利益	1,192,405	1,155,874
販売費及び一般管理費	1,305,270	1,552,116
営業損失(△)	△112,865	△396,242
営業外収益		
受取利息	6,950	439
為替差益	60,236	184,472
補助金収入	104,633	2,323
その他	2,516	3,169
営業外収益合計	174,336	190,405
営業外費用		
支払利息	62,571	70,857
支払手数料	19,191	29,520
その他	5,855	11,013
営業外費用合計	87,618	111,391
経常損失(△)	△26,147	△317,227
特別利益		
固定資産売却益	9,242	7,450
補助金収入	768	5,196
特別利益合計	10,010	12,646
特別損失		
固定資産売却損	—	13,325
固定資産圧縮損	562	5,009
特別損失合計	562	18,334
税金等調整前中間純損失(△)	△16,699	△322,916
法人税、住民税及び事業税	44,914	4,580
法人税等調整額	1,984	△85,160
法人税等合計	46,898	△80,580
中間純損失(△)	△63,598	△242,336
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△63,598	△242,336

(中間連結包括利益計算書)  
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年3月1日 至2024年8月31日)
中間純損失(△)	△63,598	△242,336
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470	△279
為替換算調整勘定	132,958	327,534
その他の包括利益合計	133,429	327,255
中間包括利益	69,831	84,919
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	69,831	84,919
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年3月1日 至2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△16,699	△322,916
減価償却費	283,434	396,998
のれん償却額	42,861	93,531
顧客関連資産償却額	19,334	42,181
固定資産売却損益(△は益)	△9,242	5,875
固定資産圧縮損	562	5,009
補助金収入	—	△7,519
支払手数料	19,191	29,520
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,984	△475
修繕引当金の増減額(△は減少)	△45,168	39,704
製品保証引当金の増減額(△は減少)	72,085	△16,974
従業員株式報酬引当金の増減額(△は減少)	2,209	2,508
未払金の増減額(△は減少)	△181,169	△68,176
前受金の増減額(△は減少)	△169,784	△218,084
契約負債の増減額(△は減少)	△462	417,178
為替差損益(△は益)	△94,600	△170,332
受取利息	△6,950	△439
支払利息	62,571	70,857
売上債権の増減額(△は増加)	△344,813	277,017
棚卸資産の増減額(△は増加)	△523,817	△357,800
仕入債務の増減額(△は減少)	△226,558	25,092
その他	△279,657	18,371
小計	△1,408,658	261,127
利息の受取額	2,050	327
利息の支払額	△58,444	△69,472
補助金の受取額	—	5,009
和解金の受取額	—	37,455
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△63,667	55,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,528,719	290,223
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,065,382	△990,172
有形固定資産の売却による収入	20,309	72,250
無形固定資産の取得による支出	△8,455	△7,260
敷金及び保証金の差入による支出	△540	△116
敷金及び保証金の回収による収入	—	79
貸付けによる支出	△1,284,688	—
従業員に対する貸付けによる支出	△294	△164
従業員に対する貸付金の回収による収入	785	896
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△3,386,910	—
拘束性預金の預入による支出	△66	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,725,243	△924,486

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自2024年3月1日 至2024年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,800,000	1,200,000
長期借入れによる収入	6,000,000	320,000
長期借入金の返済による支出	△733,312	△419,923
社債の発行による収入	147,450	—
社債の償還による支出	△153,500	△3,500
株式の発行による収入	32,385	114,279
リース債務の返済による支出	△902	△854
割賦債務の返済による支出	△719	—
自己株式の取得による支出	△122	—
その他	—	△35,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,091,278	1,174,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,576	7,009
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△145,107	546,841
現金及び現金同等物の期首残高	1,438,024	1,626,592
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,292,917	2,173,433

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (重要な後発事象)

(吸収分割による事業承継を目的とした子会社の設立)

当社は、2024年10月4日開催の取締役会において、主としてパワー半導体向け材料及び関連製品の研究開発・製造販売等に関する事業を承継させることを目的として、当社100%出資の連結子会社「株式会社オキサイドパワークリスタル」を設立することを決議いたしました。

## 1. 子会社の設立及び会社分割の目的

当社は、次世代パワー半導体材料として溶液法SiCウエハなどの事業化に取り組んでおります。

次世代パワー半導体の基板は、現在海外メーカーがシェアの大部分を有しており、日本メーカーの空白地帯です。このため、経済産業省を中心に国を挙げて支援を進めており、当社は空白地帯の次世代パワー半導体基板分野への参入を目指しております。当社が事業化に取り組む溶液法SiCウエハは、従来の昇華法に比べ、原理的に欠陥が少なく高品質な単結晶育成が可能です。

当該事業の子会社化は、機動的な経営判断を可能にし、他社との連携による製造バリューチェーン構築の早期化に貢献します。また、当該事業に係る資金調達の見通しを拡大させます。

このように、事業環境の変化に対応しつつ、当該事業化を更に加速させる目的で、当社100%出資の連結子会社を設立し、吸収分割により当該事業を承継する予定です。

## 2. 新会社の概要(予定)

(1) 名称	株式会社オキサイドパワークリスタル	
(2) 所在地	山梨県北杜市武川町牧原1741番地8	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 古川 保典	
(4) 事業内容	パワー半導体向け材料及び関連製品の研究開発・製造販売等	
(5) 設立年月日	2024年10月18日(予定)	
(6) 資本金	10百万円	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社オキサイド 100%	
(8) 決算期	2月末日	
(9) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社100%出資の子会社として設立いたします。
	人的関係	当社の役員・従業員から4名を当該会社の取締役、1名を当該会社の監査役として派遣する予定です。なお、当社の取締役2名が、当該会社の取締役を兼任する予定です。
	取引関係	該当事項はありません。

## 3. 日程

(1) 取締役会決議日	2024年10月4日
(2) 設立年月日	2024年10月18日(予定)
(3) 事業開始日	2024年12月1日(予定)